

ワクチン予防可能疾患の患者数・死者数の推移

年次	一類感染症		二類感染症				四類感染症		五類感染症（全数把握）				五類感染症（定点把握）														
	痘そう		急性灰白髄炎		ジフテリア		日本脳炎		破傷風		先天性風しん症候群		インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)			百日咳			風しん			麻しん (成人麻しんを除く)			成人麻しん		
	報告数	死亡数	報告数	死亡数	報告数	死亡数	報告数	死亡数	報告数	死亡数	報告数	死亡数	報告数	定点当り報告数	死亡数	報告数	定点当り報告数	死亡数	報告数	定点当り報告数	死亡数	報告数	定点当り報告数	死亡数	報告数	定点当り報告数	死亡数
1999 平成11	-	-	0	0	2	0	5	0	66	10	0	1	65,471	15.32	1,382	2,653	0.92	2	2,972	1.03	0	5,875	2.04	27	83	0.18	2
2000 12	-	-	1	0	1	1	7	1	91	10	1	0	769,964	167.93	575	3,804	1.28	1	3,123	1.05	0	22,552	7.57	11	426	0.93	7
2001 13	-	-	0	0	0	0	5	0	80	12	1	0	305,441	65.70	214	1,760	0.58	0	2,561	0.85	1	33,812	11.20	11	931	1.98	10
2002 14	-	-	0	0	0	0	8	1	106	9	1	1	747,010	159.01	358	1,458	0.48	0	2,971	0.98	1	12,473	4.11	6	440	0.93	4
2003 15	0	0	0	0	0	0	1	0	73	7	1	0	1,162,290	247.14	1,171	1,544	0.51	1	2,795	0.92	0	8,285	2.72	3	462	0.98	3
2004 16	0		0		0		5		100		10		769,202	164.61		2,203	0.72		4,248	1.40		1,554	0.51		60	0.13	

年次	五類感染症（定点把握）					
	水痘			流行性耳下腺炎		
	報告数	定点当り報告数	死亡数	報告数	定点当り報告数	死亡数
1999 平成11	162,424	56.50	12	69,070	24.02	0
2000 12	275,036	92.36	5	132,877	44.62	2
2001 13	271,409	89.90	4	254,711	84.37	2
2002 14	263,308	86.73	10	180,827	59.56	2
2003 15	250,561	82.39	4	84,734	27.86	1
2004 16	246,665	81.17		128,604	42.32	0

資料：報告数は感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条及び第14条の規定に基づく、いわゆる「感染症発生動向調査」、死亡数は統計情報部「人口動態統計」

注1：平成11年の報告数については、4月から12月までの数値である。

注2：平成16年の報告数については、概数である。

注3：平成16年の死亡数については集計中である。

注4：定点把握の五類感染症は、成人麻しんを除き全国約3000の小児科定点からの報告。成人麻しんは全国約450の基幹定点からの報告である。

注5：平成12年に報告された急性灰白髄炎の1件は、経口生ワクチン接種者から2次感染した症例である。